

平成28年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策4 高齢者支援の充実

【会計】介護保険特別会計

施策3 多様な生活支援サービス提供体制の整備を推進します

3款:地域支援事業費 3項:包括支援事業・任意事業費 1目:包括支援

事業	41	生活支援体制整備事業
担当所属		高齢者福祉課

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
20,332千円	4,473千円	7,930千円	3,964千円		3,965千円

【事業の概要】

事業の概要	高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進していくため、日常生活圏域を中心に生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置します。また、生活支援等サービスの提供主体同志が、情報を共有し、連携強化を図るための場となる協議体を設置します。
事業の目的	市が中心となって、生活支援等サービスを担う事業主体(NPO、民間事業者等)と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とします。
事業の効果	生活支援等サービスの提供体制を整備することで、高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
報償金及び謝礼金	337千円	(仮)生活支援体制整備に向けた会議 委員謝礼金(11人分×4回)
講師謝礼	300千円	市民向け講演会講師謝礼(1人×4回)、 訪問介護員向け研修会講師料謝礼(1人×3回分)、 介護支援専門員向け研修会講師謝礼(1人×3回分)
9 旅費		
普通旅費	32千円	職員の出張に要する交通費
11 需用費		
消耗品費	25千円	書籍購入費及び事業用(研修実施関連)消耗品費
食糧費	11千円	講演会講師弁当(4回分)、講演会・研修会、会議用お茶代(21人分)
印刷製本費	734千円	総合事業及び生活支援コーディネーター周知用チラシ(各10,000枚)の印刷代
13 委託料		
高齢者の生活支援コーディネーター等事業委託料	18,093千円	各日常生活圏域(5箇所)に配置
(仮)生活支援提供者養成研修委託料	800千円	研修会実施に要する委託料
計	20,332千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成28年度計画値
研究会実施回数	4回
生活支援コーディネーター(第2層)の配置数	5人
第2層(日常生活圏域)に協議体(会議)開催回数	20回
第2層(日常生活圏域)に協議体(会議)参加団体数	5団体(者)
高齢者福祉(在宅福祉)サービスが充実していると感じる市民の割合	35%